

PAT-NO: JP02001224431A
**DOCUMENT-
IDENTIFIER:** JP 2001224431 A
TITLE: METHOD FOR RECOMMENDING HAIR CARE PRODUCTS AND TOOL
THEREOF
PUBN-DATE: August 21, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OZEKI, MIEKO	N/A
OGINO, TOMOKO	N/A
HASHIMOTO, HAZUE	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KANEBO LTD	N/A

APPL-NO: JP2000037022

APPL-DATE: February 15, 2000

INT-CL (IPC): A45D044/00, G09F005/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for recommending hair care products to use for a two-stage hair care treatment combining a daily hair care treatment and a cyclic hair care treatment, and a tool to use for the method.

SOLUTION: As hair care products there are prepared a plurality of shampoos, conditioners, cleansing agents and hair cosmetics to choose from according to the condition of hair and head skin. Using a first recommendation tool 1 and a second recommendation tool 3, the combination of the shampoo and the conditioner, which is suitable for the condition of the hair and the head skin of a customer, is recommended to be used as a daily hair care treatment. In addition to the above combination of the shampoo and the conditioner, at least either of a cleansing agent or a hair cosmetic is recommended to be used as a cyclic and intensive hair care treatment.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-224431

(P2001-224431A)

(43)公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51)In1Cl.

A 45 D 44/00
G 09 F 5/00

識別記号

F I

テ-マコ- (参考)

A 45 D 44/00
G 09 F 5/00

A
Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 ① (全 11 頁)

(21)出願番号 特願2000-37022(P2000-37022)

(22)出願日 平成12年2月15日 (2000.2.15)

(71)出願人 000000952

カネボウ株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)発明者 大岡 三枝子

東京都港区海岸3丁目20番20号 株式会社

リサーチ内

(72)発明者 萩野 智子

東京都港区海岸3丁目20番20号 株式会社

リサーチ内

(72)発明者 橋本 葉末

東京都港区海岸3丁目20番20号 株式会社

リサーチ内

(74)代理人 100079382

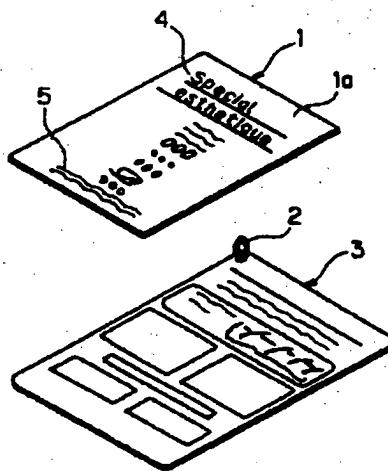
弁理士 西藤 征彦

(54)【発明の名称】 ヘアケア商品推薦方法およびそれに用いるツール

(57)【要約】

【課題】日々のヘアケア施術と、周期的なヘアケア施術とを組み合わせた2段階ヘアケア施術に用いるヘアケア商品を推薦する方法およびそれに用いるツールを提供する。

【解決手段】ヘアケア商品として、髪と頭皮の状態に応じて選択することができる複数のシャンプーと、トリートメントと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを準備し、第1の推薦ツール1と、第2の推薦ツール3とを用い、日々のヘアケアとして、上記複数のシャンプーのうち顧客の髪と頭皮の状態に適したシャンプーと、トリートメントとを組み合わせて用いることを推薦し、周期的に行う集中的なヘアケアとして、上記シャンプーとトリートメントの組み合わせに加えて、クレンジング剤および毛髪化粧料の少なくとも一方を用いることを推薦するようにした。



1:第1の推薦ツール
3:第2の推薦ツール

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘアケア商品として、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを準備し、日々のヘアケアとして、上記複数のシャンプーのうち顧客の髪と頭皮の状態に適したシャンプーを用いることを推奨し、周期的に行う集中的なヘアケアとして、上記シャンプーに加えて、クレンジング剤および毛髪化粧料の少なくとも一方を用いることを推奨するようにしたことを特徴とするヘアケア商品推奨方法。

【請求項2】 ヘアケア商品として、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、トリートメントと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを準備し、日々のヘアケアとして、上記複数のシャンプーのうち顧客の髪と頭皮の状態に適したシャンプーと、トリートメントとを組み合わせて用いることを推奨し、周期的に行う集中的なヘアケアとして、上記シャンプーとトリートメントの組み合わせに加えて、クレンジング剤および毛髪化粧料の少なくとも一方を用いることを推奨するようにしたことを特徴とするヘアケア商品推奨方法。

【請求項3】 請求項1記載のヘアケア商品推奨方法に用いるツールであって、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを表示するヘアケア商品表示部と、少なくとも髪の状態と頭皮の状態の2項目においてそれぞれ複数のチェック項目が列挙され、これらのチェック項目のうち該当項目をチェックすることにより、髪と頭皮の状態を評価することができるよう構成された問診表とが設けられた第1の推奨ツールと、髪の成長期と休止期と脱毛期を順に模式的に示すヘアサイクル表示部と、髪と頭皮のさまざまな状態を示すヘアケア診断用情報表示部と、上記ヘアケア商品を用いた施術方法の説明表示部とが設けられた第2の推奨用ツールとが組み合わせられていることを特徴とするヘアケア商品推奨ツール。

【請求項4】 請求項2記載のヘアケア商品推奨方法に用いるツールであって、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、トリートメントと、毛髪化粧料とを表示するヘアケア商品表示部と、少なくとも髪の状態と頭皮の状態の2項目においてそれぞれ複数のチェック項目が列挙され、これらのチェック項目のうち該当項目をチェックすることにより、髪と頭皮の状態を評価することができるよう構成された問診表とが設けられた第1の推奨ツールと、髪の成長期と休止期と脱毛期を順に模式的に示すヘアサイクル表示部と、髪と頭皮のさまざまな状態を示すヘアケア診断用情報表示部と、上記ヘアケア商品を用いた施術方法の説明表示部とが設けられた第2の推奨用ツールとが組み合わせられていることを特徴とするヘアケア商品推奨ツール。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ヘアケア商品の推奨方法およびそれに用いるツールに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、シャンプーやリンス、ヘアパック等、ヘアケア用の化粧品は、セルフサービス用の陳列棚に陳列され、顧客自身が選択して購入する形態で販売されるのが一般的であるが、ヘアケアに強い関心を持つ顧客に対しては、専門の販売員（もしくはカウンセラー）が、店頭あるいは訪問販売先で、メーカーから配布された化粧品販売用情報シートにもとづいてカウンセリングを行い、顧客の髪の質に応じたヘアケア化粧品を推奨することが行われている。そして、上記カウンセリングの延長として、頭皮をもむ、叩く等のヘアケアマッサージを、実際に顧客に対して行う場合もある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、不定期的に、このようなヘアケアマッサージを行っても、そのとき限りの効果が得られるにすぎず、長期にわたって維持される効果は小さい。そこで、最近、このように独立したヘアケアマッサージとは別に、日々行う洗髪時の指使いを効果的な指使いにして、日常的に頭皮・毛髪にヘアケア施術を行い、日々のヘアケア施術ではゆきとどかない場合には、これを補うために、周期的に特殊なヘアケア施術を行うことが検討されている。また、上記2段階で行うヘアケア施術に適したヘアケア商品の開発が検討されている。そこで、このようなヘアケア商品の推奨方法のマニュアルを確立することも強く望まれている。

【0004】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、日々のヘアケア施術と、周期的なヘアケア施術とを組み合わせた2段階ヘアケア施術に用いるヘアケア商品を推奨する方法およびそれに用いるツールの提供をその目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明は、ヘアケア商品として、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを準備し、日々のヘアケアとして、上記複数のシャンプーのうち顧客の髪と頭皮の状態に適したシャンプーを用いることを推奨し、周期的に行う集中的なヘアケアとして、上記シャンプーに加えて、クレンジング剤および毛髪化粧料の少なくとも一方を用いることを推奨するようにしたヘアケア商品推奨方法を第1の要旨とし、ヘアケア商品として、髪と頭皮の状態に応じて選択することのできる複数のシャンプーと、トリートメントと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを準備し、日々のヘアケアとして、上記複数のシャンプーのうち顧客の髪と頭皮の状態に適したシャンプーと、トリートメントとを組み合わせて用いることを推奨し、周期的に行う集中的なヘアケアとして、上記シャン

ブーとトリートメントの組み合わせに加えて、クレンジング剤および毛髪化粧料の少なくとも一方を用いることを推奨するようにしたヘアケア商品推奨方法を第2の要旨とする。

【0006】また、上記ヘアケア商品推奨方法に用いるツールであって、髪と頭皮の状態に応じて選択することができる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、毛髪化粧料とを表示するヘアケア商品表示部と、少なくとも髪の状態と頭皮の状態の2項目においてそれぞれ複数のチェック項目が列挙され、これらのチェック項目のうち該当項目をチェックすることにより、髪と頭皮の状態を評価することができるよう構成された問診表とが設けられた第1の推奨ツールと、髪の成長期と休止期と脱毛期を順に模式的に示すヘアサイクル表示部と、髪と頭皮のさまざまな状態を示すヘアケア診断用情報表示部と、上記ヘアケア商品を用いた施術方法の説明表示部とが設けられた第2の推奨ツールとが組み合せられているヘアケア商品推奨ツールを第3の要旨とし、上記と同様のヘアケア商品推奨ツールであって、第1の推奨ツールにおけるヘアケア商品表示部に、髪と頭皮の状態に応じて選択することができる複数のシャンプーと、クレンジング剤と、トリートメントと、毛髪化粧料とが表示されているヘアケア商品推奨ツールを第4の要旨とする。

〔0007〕なお、本発明において、「日々のヘアケア」とは、ヘアケアを毎日行う場合に限らず、少なくとも2日に1度の頻度で行うヘアケアのことをいい、「周期的に行う集中的なヘアケア」とは、3日に1度とか1週間に1度といった一定の間隔ごとに、上記日々のヘアケアに加えて行われる付加的なヘアケアのことをいうのであり、その周期は、なか2日以上の間隔があれば、特に限定されるものではない。

[0008]

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施の形態について説明する。

【0009】図1は、本発明におけるヘアケア商品推奨ツール（以下、単に「推奨ツール」という）の一実施の形態を示している。この推奨ツールは、一連の新しいヘアケア商品とそれを用いた新しいヘアケア施術の方法を提案し推奨するためのもので、B4サイズの紙製シートを横長の状態で左右に二つ折りして形成された第1の推奨ツール1と、A4サイズの剛性シートを縦長の状態で2枚重ね、左上端部を綴じ合わせ用リング2で綴じ合せた第2の推奨ツール3とで構成されている。

【0010】上記第1の推奨ツール1は、今回推奨する新しいヘアケア商品とヘアケア施術の全般についての提案と推奨を行うためのもので、表紙1aの上部に、「Special esthetique」という見出し4が表示されており、下部に、「毛髪の修復と頭皮のケアのために、コラーゲンに着目したヘアエステティック」という、このヘアケアのキーワードフレーズ5が表示され

二七九

【001-1】上記第1の推奨ツールの表紙1aをめくって左右に開いた見開きページ1b, 1cには、図2に示すように構成されている。すなわち、その上部には、「髪と頭皮の状態に合わせた3つのシャンプーと1つのトリートメントを組み合わせるディリーケア。そして、週に1度の集中ケア。」という、このヘアケアの特徴を説明する文らが表示されている。また、その下には、「DAILY CARE」の小見出し7が付された3種類のシャンプーのカラー写真8と、同じく「DAILY CARE」の小見出し9が付された1種類のトリートメントのカラー写真10と、「SPECIAL CARE」の小見出し11が付されたクレンジング剤のカラー写真12と毛髪化粧料のカラー写真13と、「PRE STYLING」の小見出し14が付された2種類のスタイリング剤のカラー写真15とが、並んで表示されている。そして、それぞれのカラー写真8等の下には、その商品名や値段、効能等の説明書き16が付記されている。

20. 【0012】そして、上記商品群の表示の下には、上下を仕切る仕切り線】7が引かれており、その下の、向かって左側のスペースには、髪と頭皮の健康状態を評価するための問診表18が表示されている。

【0013】上記問診表18の詳細を図3に示す。すなわち、この問診表18の上部には、「髪と頭皮の健康状態を確かめてみましょう。」という問診を促す文19が表示されており、その下に、「髪の状態」に関するチェック項目20と、「頭皮の状態」に関するチェック項目21と、「生活環境」に関するチェック項目22が、左右に並べて表示されている。そして、各項目20~22の右側には、該当した場合にチェックするための四角枠23が設けられている。

【0014】ちなみに、「髪の状態」に関するチェック項目20としては、「パーマやカラーリングをしている」、「枝毛や切れ毛が多い」、「最近、髪にツヤがなくなってきた」、「髪がパサつきがち」の4項目があげられている。また、「頭皮の状態」に関するチェック項目21としては、「頭皮の赤みが気になる」、「頭皮が脂っぽい」、「頭皮がかたく張っている感じ」、「頭皮がかゆくなる」の4項目があげられている。さらに、「生活環境」に関するチェック項目22としては、「食事が不規則で偏食がち」、「肩こりや冷え症に悩んでいる」、「ストレスを感じことが多い」、「紫外線に当たる機会が多い」の4項目があげられている。

【0015】そして、上記チェック項目20～22の下には、「アドバイス」の小見出し24と、「チェックが多いほど、髪のダメージと老化が進みやすくなっています。」の文25が表示されており、その下に、上記チェック項目20～22による問診結果に対するアドバイス25aが表示されている。具体的には、「髪の状態にチ

エックの多い方へ傷みの進行を防ぎ、美しい髪に整えるお手入れを。」、「頭皮の状態にチェックの多い方へ頭皮の脂っぽさや乾燥を防ぎ、毛根をすこやかに保つお手入れを。」、「髪の状態、頭皮の状態とともにチェックの多い方へデイリーケアと週に1度の集中ケアを組み合わせたお手入れをおすすめします。」というアドバイス25aである。

【0016】また、仕切り線17の下の、向かって右側のスペースには、上記「DAILY CARE」(毎日のヘアケア)で用いるシャンプーによる洗髪のテクニックを示す説明26が表示されている。

【0017】上記説明26の詳細を図4に示す。すなわち、この部分の上部には、「〔スペシャルシャンプーテク〕は、『手で泡立てる』『ジグザグマッサージ』がポイント。」という、このヘアケアにおけるポイントを示す説明文27が表示されており、その下に、「まず頭皮と髪を十分ぬらして柔洗いします。」の文28が表示されている。そして、その下に、シャンプーによる洗髪の手順29が箇条書きで表示されている。この手順29の箇条書きをより詳しく説明すると、「(1) シャンプーを手のひらに適量取り、両手のひらで軽く泡立て、ぬらした髪と頭皮にムラなくなじませます。」、「(2) 指の腹をスライドさせるようにジグザグと動かし、生え際から後頭部に向かって、頭皮全体をマッサージするように洗います。」、「(3) シャンプーの泡を手ぐしで取ってから、ぬるま湯で十分にすすぎます。」となっている。

【0018】そして、その右側には、左側で示した洗髪の手順29において、特に重要なポイントがイラスト入りで表示されている。すなわち、上段に、シャンプーを手で泡立てている状態を示すイラスト30と、「手で泡立ててから洗うと髪にやさしい。」という文31が表示されており、下段に、シャンプー時の指の動かし方を矢印で示す3枚のイラスト32~34と、「ジグザグマッサージなら地肌がしっかりと洗えて、髪1本1本の根元がきれいになる。」という文35が表示されている。

【0019】また、上記第1の推奨ツール1の裏面(頁1cの裏側の頁)1dは、図5に示すような構成になっている。すなわち、最上部に、横に延びる帯状枠36が設けられており、その内側に、「プロフィール」という見出し37が表示されている。そして、その下に、「このエステは、しなやかな毛髪とすこやかな頭皮を育むために、ヘアサイクルにおける成長期のコラーゲンの新陳代謝に着目しました。」という、このヘアケアの特徴を示す文38が表示されており、その下に、長方形枠が設けられている。そして、その内側の上部に、「毛髪の85%は成長期」の小見出し39が表示されており、その下に、毛髪のヘアサイクルについての説明文40が表示されている。また、その右側に、成長期初期→成長期→退行期→休止期→脱毛という5段階のヘアサイクルを示

す、模式的なイラスト41が表示されている。

【0020】また、その下には、「成長期の毛髪や頭皮は、本来、健康でしなやかです。」という文42が表示され、その下の長方形枠43内に、「加齢、ストレス、紫外線、バーマ、カラーリングなどによりダメージを受けると」という提示文43が表示されている。そして、左右に矢印44、45が設けられ、その下の長方形枠46、47内に、ダメージを受けたときの頭皮の状態と、ダメージを受けたときの毛髪の状態とが、それぞれ文章で表示されている。そして、左右の矢印48、49と、中央の、「だから、このエステでは」の小見出し50を介して、その下の長方形枠51、52内に、このエステによる頭皮への効果と、このエステによる毛髪への効果とが、それぞれ文章で表示されている。

【0021】さらに、その下には、「とくに毛髪や頭皮のトラブルでお悩みの方は、アナライザーを活用したスペシャルカウンセリングを受けてみませんか?」という案内文53が表示されており、その下に、アナライザー(頭皮や毛髪の拡大画像を撮像して表示する装置)を用いて得られた健康な頭皮の拡大画像54と疲れた頭皮の拡大画像55が表示されている。なお、その下の長方形枠56内には、この第1の推奨ツール1に表示されたヘアケア商品を取り扱う店舗名や住所、担当者名等を記入することができるようになっている。

【0022】一方、第2の推奨ツール3(図1参照)は、今回提案し推奨するヘアケア商品とヘアケア施術のなかでも、特に、週に1度の集中ケアを推奨するために用いるもので、その上側のシート表面3aは、図6に示すような構成になっている。すなわち、まず、最上部に、「Special esthetique」の見出し60と、「毛髪の修復と頭皮のケアのためにコラーゲンに着目したヘアエステティック」という、このヘアケアのキヤッチフレーズ61が表示されている。そして、その右側に、「コンセプトシート」の文字62が表示されており、この面3aの役割が、今回推奨するヘアケア商品とヘアケア施術のコンセプトを示すものであることがわかるようになっている。

【0023】また、その下には、「しなやかな毛髪とすこやかな頭皮を育むために、ヘアサイクルにおけるコラーゲンの新陳代謝に着目。」という、このヘアケアの特徴を示す文63が表示されており、その下に、長方形枠64が設けられている。そして、その内側の上部に、「毛髪の85%は成長期」の小見出し65が表示されており、その下に、毛髪のヘアサイクルについての説明文66が表示されている。また、その右側に、成長期初期→成長期→退行期→休止期→脱毛という5段階のヘアサイクルを示す、模式的なイラスト67が表示されている。

【0024】上記長方形枠64の下の左側には、「〔成長期の頭皮〕」という小見出し68とともに、アナライ

7
ザーで得られた健康な頭皮の拡大画像69と、成長期の頭皮と毛髪の構造を模式的に示すイラスト70と、説明文71とが表示されている。また、その右側には、「〔成長期の毛髪〕」という小見出し72とともに、顕微鏡で得られた健康な毛髪の拡大画像73と、健康な毛髪の断面構造を模式的に示すイラスト74と、説明文75とが表示されている。

【0025】そして、その下の長方形枠76内に、「加齢、ストレス、紫外線、バーマ・カラーリングなどによりダメージを受けると」という提示文77が表示されており、「加齢」、「ストレス」、「紫外線」、「バーマ・カラーリング」の各文字が、それぞれ円形枠78で囲まれて強調されている。そして、左右に矢印79、80が設けられ、その下の長方形枠81、82内に、ダメージを受けたときの頭皮の説明と、ダメージを受けたときの毛髪の説明が、アナライザーによる頭皮の拡大画像83と、顕微鏡による毛髪の拡大画像84とともに、それぞれ表示されている。そして、左右の矢印85、86と、中央の、「だから、このエステでは」という小見出し87を介して、その下の長方形枠88、89内に、このエステによる頭皮への効果と、このエステによる毛髪への効果とが、それぞれ文章で表示されている。

【0026】つぎに、上記シート表面3aを裏返して現れる裏面3bの構成を説明する。この裏面3bには、図7に示すように、最上部に、表面3aと同様、「Special esthetique」の見出し60と、「毛髪の修復と頭皮のケアのためにコラーゲンに着目したヘアエステティック」という、このヘアケアのキャッチフレーズ61が表示されている。そして、その右側に、「診断シート」の文字90が表示されており、この面3bの役割が、ヘアケア商品とヘアケア施術の推奨に先立って、毛髪と頭皮の状態を診断する際に用いられるものであることがわかるようになっている。

【0027】また、その下には、「毛髪と頭皮の診断」という見出し91が表示されており、その下の上段に、毛髪の状態を診断するための情報が表示され、中段に、頭皮の分泌状態を診断するための情報が表示され、下段に、頭皮の健康状態を診断するための情報が表示されている。

【0028】これらの情報を、より詳しく説明すると、まず、上段には、「毛髪の状態」という小見出し92が表示されており、その下に、顕微鏡による健康な毛髪の拡大画像93と、同じく傷み始めた毛髪の拡大画像94と、同じく傷みが進んだ毛髪の拡大画像95とが、左右に並べて表示されている。そして、各拡大画像93～95の下には、それぞれの画像についての説明文96～98と、毛髪を触診した場合のチェックポイント99～101が表示されている。ちなみに、健康な毛髪についての説明文96は、「キューティクルがひきしまり、きれいに整っています。その先端もなめらかです。」となっ

ており、その触診ポイント99は、「つるつるとしている、なめらかな手触りです。」となっている。

【0029】また、中段には、「頭皮の分泌」という小見出し102が表示されており、その下の左側に、「お肌のコンディションと頭皮の分泌は相関関係にあります。」という文103が表示されている。そして、その右側には、典型的な4種類の肌タイプと、頭皮の分泌状態との関係を示す説明文104が表示されている。ちなみに、上記4種類の肌タイプと頭皮の分泌状態との関係は、「O肌」（脂っぽい肌）の人、「OD肌」（脂っぽく乾燥しやすい肌）の人は、頭皮もオイリーになりやすい傾向にあり、「N肌」（ノーマルな肌）の人は、頭皮も環境によって変化しやすい傾向にあり、「D肌」（乾燥しやすい肌）の人は、頭皮も乾燥しやすい傾向にある、と説明されている。

【0030】そして、その下の左側には、皮脂が適度に分泌されている普通の頭皮を示すアナライザーによる拡大画像105が表示されており、その右側の上段に、脂っぽい頭皮の拡大画像106と、乾燥した頭皮の拡大画像107が表示され、下段に、脂っぽい頭皮が汚れた状態を示す拡大画像108と、乾燥した頭皮が汚れた状態を示す拡大画像109が表示されている。

【0031】さらに、下段には、「頭皮の健康状態」という小見出し110が表示されており、その下の左側には、アナライザーによって得られた健康な頭皮の拡大画像111が表示され、その右側には、同じく疲れた頭皮の拡大画像112が表示されている。そして、上記各拡大画像111、112には、それぞれ説明文113、114が付記されている。

【0032】また、第2の推奨ツール3の下側のシート表面3cは、図8に示すような構成になっている。すなわち、この表面3cには、最上部に、上側のシートの表面3a、3bと同様、「Special esthetic」の見出し60と、「毛髪の修復と頭皮のケアのためにコラーゲンに着目したヘアエステティック」という、このヘアケアのキャッチフレーズ61が表示されている。そして、その右側に、「ヘアケアテクニックシート」の文字115が表示されており、この面3cの役割が、今回推奨するヘアケア商品を用いたヘアケア施術のテクニックを示すものであることがわかるようになっている。

【0033】また、その下には、「ヘアケアテクニック」という見出し116が表示され、その下に、「シャンプーテクニック」という小見出し117が表示されている。そして、その下の帯状枠118内に、「まず頭皮と髪を十分ぬらして素洗いします。」の文119が表示されており、その下に、逆三角の矢印120を介して、シャンプーによる洗髪の手順121が箇条書きで表示されている。この手順121の箇条書きをより詳しく説明すると、「(1) シャンプーを手のひらに適量取り、両

手のひらで軽く泡立てて、ぬらした髪と頭皮にムラなくなじませます。」、「(2) 指の腹をスライドさせるようにジグザグと動かし、生え際から後頭部に向かって、頭皮全体をマッサージするように洗います。髪はこすり合わさず、泡でやさしく洗います。」、「(3) シャンプーの泡を手ぐして取ってから、ぬるま湯で十分にすすぎます。」となっている。

【0034】そして、その右側には、アナライザーによる洗髪前の頭皮の拡大写真122と洗髪後の頭皮の拡大写真123が上下に並べて表示されており、洗髪によつていかに頭皮が清浄になるかが一目でわかるようになっている。また、その右側には、左側で示した洗髪の手順121において、特に重要なポイントがイラスト入りで表示されている。すなわち、上段に、シャンプーを手で泡立てている状態を示すイラスト124と、「手で泡立ててから洗うと髪にやさしい」という文125が表示されており、下段に、シャンプー時の指の動かし方を矢印で示す2枚のイラスト126、127と、「ジグザグマッサージなら、地肌がしっかり洗えて、髪1本1本の根元がきれいになる」という文128が表示されている。

【0035】また、その下には、「傷んだ髪のダメージ防止に」の見出し129が表示されており、その下に、髪の状態を改善するための2つの提案が表示されている。すなわち、左側に、「タオルドライ」の小見出し130と、「シャンプー後、軽く水気をきり、髪をタオルでやさしくはさみ、軽くたたくようにして髪の水分を吸い取るのがポイント。」という説明文131と、タオルドライをしている状態を示すイラスト132とが表示されている。また、右側には、「低温ドライヤー」の小見出し133と、「ドライヤーは低温で、風を地肌に当てて乾かし、一ヶ所に熱を与えるすぎないように。」という説明文134と、ドライヤーで髪を乾かしている状態を示すイラスト135とが表示されている。

【0036】また、その右側には、四角枠136が設けられており、その内側の上部に、「傷んだ髪のためのヘアリペアマスク」という見出し137が表示されている。なお、「ヘアリペアマスク」とは、この施術に用いる毛髪化粧料の商品名である。そして、その下に、「毛髪内部から流出したたんぱく質を補うように、毛髪1本1本にていねいになじませ、しなやかな髪を保ちましょう。」という説明文138と、ヘアリペアマスクによるマッサージの手順139が箇条書きで表示されている。この手順139の箇条書きをより詳しく説明すると、

「(1) シャンプー後、髪を6つに小分けしながら、両手で包むようにヘアリペアマスクをゆきわたらせます。」、「(2) 蒸しタオルやビニールキャップで頭全体を包み、5~10分くらいおくと、血行がいちだんとよくなり、栄養がゆきわたります。」、「(3) 最後に洗い流します。」となっている。そして、上記四角枠136内の余白には、ヘアリペアマスクをゆきわたらせる

ために髪を小分けした状態を示すイラスト140が表示されている。

【0037】さらに、その下には、「疲れた頭皮のダメージ防止に」の見出し141が表示されており、その下に、頭皮の状態を改善するための2つの提案が表示されている。すなわち、左側に、「スカルプマッサージ」の小見出し142と、「3本指で、頭頂部に向かって指の腹で頭皮を動かすように、ゆっくりと全体をマッサージします。」という説明文143と、指の動きを示すイラスト144とが表示されている。また、右側には、「シャンプー前のブラッシング」の小見出し145と、「ブラッシングの際は、血行をより促すとともに、髪の間に入り込んだ汚れを落とすためにも、一方向だけでなく、いろいろな方向から行うのがポイント。」という説明文146と、ブラッシングをしている状態を示すイラスト147とが表示されている。

【0038】そして、その右側には、四角枠148が設けられており、その内側の上部に、「頭皮の皮脂や汚れが気になるときはスカルプクレンジング」という見出し149が表示されている。そして、その下に、「頭皮をマッサージすることで、ストレスや加齢などで滞った血行を促進。頭皮をリフレッシュさせ、すこやかに保ちましょう。」という説明文150と、クレンジング剤によるマッサージの手順151が箇条書きで表示されている。この手順151の箇条書きをより詳しく説明すると、「(1) シャンプー前の乾いた頭皮に、5~6回に分けて塗布し、生え際から頭頂部に向かって小さく円を描くようにマッサージします。」、「(2) 蒸しタオルやビニールキャップで頭全体を包み、3~5分くらいおくと、頭皮の疲れがいやされます。」、「(3) 最後に洗い流します。」となっている。そして、上記四角枠148内の余白には、クレンジング剤によるマッサージを行な際の指の動かし方を矢印で示すイラスト152が表示されている。

【0039】つぎに、上記下側のシート表面3cを裏返して現れる裏面3dの構成を説明する。この裏面3dには、図9に示すように、最上部に、表面3cと同様、「Special esthetique」の見出し60と、「毛髪の修復と頭皮のケアのためにコラーゲンに着目したヘアエステティック」という、このヘアケアのキャッチフレーズ61が表示されている。そして、その右側に、「アドバイスシート」の文字153が表示されており、この面3dの役割が、ヘアケア商品の推奨に加えて、推奨に先立って、毛髪と頭皮の状態を診断する際に用いられるものであることがわかるようになってい

る。

【0040】また、その下には、「毛髪と頭皮をすこやかに保つ生活情報」という見出し154が表示されており、その下の上段に、健康な毛髪と頭皮を育む食生活に関する情報が表示され、中段に、ストレスによるダメ

ジを回復するための情報が表示され、下段に、睡眠に関する情報が表示されている。

【0041】これらの情報を、より詳しく説明すると、まず、上段には、「健康な毛髪と頭皮を育む食生活」という見出し155が表示されており、その下の左側に、「食事の影響」という小見出し156と、食事と毛髪、頭皮との関係についての説明文157と、食事をしている女性のイラスト158とが表示されている。また、その右側には、「食事の秘訣」という小見出し159と、毛髪と頭皮をすこやかに育む食事の秘訣についての説明文160と、秘訣となる食品（肉、魚、チーズ）のイラスト161とが表示されている。

【0042】また、中段には、「ストレスによるダメージの回復」という見出し162が表示されており、その下の左側に、「ストレスの影響」という小見出し163と、肉体的・精神的ストレスと毛髪、頭皮との関係についての説明文164と、ストレスに悩む女性のイラスト165とが表示されている。また、その右側には、「リラックスする秘訣」という小見出し166と、その秘訣についての説明文167と、秘訣となるストレス解消グッズ（アロマテラピーに用いる香や花等）のイラスト168とが表示されている。

【0043】さらに、下段には、「睡眠はすこやかなリズムを取り戻す」という見出し169が表示されており、その下の左側に、「睡眠の効果」という小見出し170と、睡眠が毛髪、頭皮に与える効果についての説明文171と、眠っている女性のイラスト172とが表示されている。また、その右側には、「心地よく睡る秘訣」という小見出し173と、その秘訣についての説明文174と、秘訣となる飲み物（牛乳、ホットミルク）のイラスト175とが表示されている。

【0044】このように構成された第1の推奨ツール1と第2の推奨ツール3を用い、化粧品販売員（もしくはヘアケア施術者等）は、顧客に対し、例えばつぎのようにして、ヘアケア商品とそれを用いたヘアケア施術の推奨を行うことができる。すなわち、まず、第1の推奨ツール1（図1参照）を顧客に見せ、その表紙1aの見出し4とキャッチフレーズ5を示す。そして、頁をめくって、図2に示すように、左右の見開き頁1b、1cを開いて、日々のヘアケア（デイリーケア）と週に1度の集中ケアを組み合わせる、という今回のヘアケアの特徴を説明する。そして、上記デイリーケアに用いる3種類のシャンプーと1種類のトリートメントがあること、上記集中ケアに用いる特殊なクレンジング剤と毛髪化粧料があることを、それぞれの商品のカラー写真8等と説明書き16を示しながら説明する。なお、デイリーケアと集中ケアの区別に関係なく、2種類のスタイリング剤を組み合わせることが好適である旨を、カラー写真15を示しながら説明する。

【0045】そして、上記デイリーケアと集中ケアを、

どの商品を用いてどのように組み合わせるかについては、その顧客の髪と頭皮の状態を客観的に評価し、その評価結果に応じて決めることが望ましいため、この推奨ツール1の下段に設けられた問診表18（図3参照）を用いて、顧客の髪と頭皮の状態について評価する。なお、上記問診表18へのチェックは、顧客自身が行ってもよいし、チェック項目をヘアケア施術者が読み上げ、顧客に該当するかしないかを尋ねて記入するようにしてもよい。

【0046】そして、上記問診表18を用いた問診の結果に従い、顧客の髪と頭皮の状態に最も適したヘアケア商品とそれを用いたヘアケア施術方法の推奨を行う。まず、問診の結果、該当項目に特に偏りがなく、チェック数も少ない顧客に対しては、その顧客に合ったシャンプーを選択した上で、これとトリートメントとを組み合わせて、現状維持もしくは髪と毛髪の状態をさらによくするために、デイリーケアとして、特殊な指使いによる洗髪を毎日行うことを推奨する。この洗髪テクニックについては、問診表18の右側に表示されている説明26（図4参照）を提示して説明する。そして、顧客には、自宅で、上記特殊な洗髪テクニックによる洗髪を、日々実施してもらうために、この第1の推奨ツール1を手渡す。

【0047】また、問診の結果、「頭皮の状態」の項目に比べて「髪の状態」の項目にチェックの多い顧客は、髪にトラブルを抱えていることがわかる。したがって、この顧客に対しては、上記特殊な指使いによる洗髪を毎日行うだけでなく、週に1度、上記洗髪による施術の後に、濡れた髪に、毛髪化粧料をゆきわたらせて髪の傷みを修復する集中ケアを行うことを提案する。そして、顧客に合ったシャンプーを選択するとともに、これと組み合わせるトリートメント、集中ケア用の毛髪化粧料を推奨する。また、集中ケアを行うためには、より詳細なヘアケアカウンセリングと集中ケア用のテクニックの習得が必要であることを顧客に理解してもらい、第2の推奨ツール3を提示する。そして、その内容にしたがって、ヘアケアカウンセリングを行うとともに、シャンプーによる洗髪と、毛髪化粧料による集中ケアを実際に行う。この集中ケアについては、1週間ごとに来店して施術を受けてもらうようにしてよいし、自宅で、顧客自身に、同様の間隔で実行してもらってよい。なお、この顧客にも、第1の推奨ツール1を手渡して、自宅でのヘアケアに役立ててもらう。

【0048】さらに、「髪の状態」の項目に比べて「頭皮の状態」の項目にチェックの多い顧客は、頭皮にトラブルを抱えていることがわかる。したがって、この顧客に対しては、前記特殊な指使いによる洗髪を毎日行うだけでなく、週に1度、これを改善するためのヘアケア施術として、上記洗髪による施術に先立って、頭皮にクレンジング剤を塗布してマッサージを行う集中ケアを行う

13

ことを提案する。そして、顧客に合ったシャンプーを選択するとともに、これと組み合わせるトリートメント、集中ケア用のクレンジング剤を推奨する。また、上記の場合と同様、集中ケアを行うためには、より詳細なヘアケアアカウンセリングと集中ケア用のテクニックの習得が必要であることを顧客に理解してもらい、第2の推奨ツール3を提示する。そして、その内容にしたがって、ヘアケアアカウンセリングを行うとともに、クレンジング剤による集中ケアと、シャンプーによる洗髪を実際に行う。この集中ケアについても、上記の場合と同様、1週間ごとに来店して施術を受けてもらうようにしてもらおうし、自宅で、顧客自身に、同様の間隔で実行してもらつてもよい。なお、この顧客にも、第1の推奨ツール1を手渡して、自宅でのヘアケアに役立てもらう。

【0049】また、問診の結果、「髪の状態」の項目にも「頭皮の状態」の項目にもチェックの多い顧客は、髪と頭皮の両方にトラブルを抱えていることがわかる。したがって、この顧客に対しては、前記特殊な指使いによる洗髪を毎日行うだけでなく、週に1度、これを改善するためのヘアケア施術として、まず、頭皮にクレンジング剤を塗布してマッサージを行い、つぎに、洗髪を行い、最後に、髪に毛髪化粧料をゆきわたらせるヘアケアを行うことを提案する。そして、顧客に合ったシャンプーを選択するとともに、これと組み合わせるトリートメント、集中ケア用のクレンジング剤、毛髪化粧料を推奨する。そして、上記の場合と同様にして、第2の推奨ツール3を提示し、ヘアケアアカウンセリングを行うとともに、クレンジング剤による集中ケアと、シャンプーによる洗髪と、毛髪化粧料による集中ケアを実際に行う。この集中ケアについても、上記の場合と同様、1週間ごとに来店して施術を受けてもらうようにしてもらおうし、自宅で、顧客自身に、同様の間隔で実行してもらつてもよい。なお、この顧客にも、第1の推奨ツール1を手渡して、自宅でのヘアケアに役立てもらう。

【0050】このように、上記第1の推奨ツール1と第2の推奨ツール3を組み合わせた推奨方法によれば、ディリーケアによるヘアケアと、週1度の集中ケアによるヘアケアとを、顧客に明確に意識させることができ、それそれに適したヘアケア商品を、顧客の髪と頭皮の状態に応じて選択した上で、推奨することができる。したがって、顧客一人一人に適した適正なヘアケア商品とヘアケア施術を、短時間で効果的に推奨することができ、顧客も納得してその商品を購入し、ヘアケア施術を自ら実行することができるという利点を有する。

【0051】また、ヘアケア商品を取り扱う化粧品販売員等が、ヘアケア商品の販売、推奨の熟練者である必要がなく、だれもが、問診→髪と頭皮の状態の評価→ヘアケア商品の選択・ヘアケア施術の選択という複雑な流れの推奨を的確に行うことができるという利点を有する。したがって、化粧品販売員等への教育の負担が軽減され

10

20

30

40

50

るという利点を有する。

【0052】なお、上記の例に限らず、第1の推奨ツール1には、ヘアケア商品に関する表示と、少なくとも髪と頭皮の状態を評価するための問診表18が設けられていればよく、他の表示を設けることは任意である。

【0053】また、第2の推奨ツール3についても、ヘアケア施術の重要性を顧客が納得でき、一定の施術テクニックが把握できるような構成になつていれば、上記の例に限らず、どのようなものであつてもよい。ただし、そのためには、少なくとも、ヘアサイクル表示部と、ヘアケア診断用情報表示部と、推奨するヘアケア商品を用いたヘアケア施術方法の説明表示部とが設けられていることが望ましい。

【0054】さらに、上記の例では、第1の推奨ツール1を、顧客全員に配布することを前提にして、紙製の簡易なシートで形成し、第2の推奨ツール3を、店頭に常備しておく情報シートとして、2枚組の剛性シートで形成しているが、それその形態は、これらに限定するものではなく、どのようなものであつても差し支えはない。

【0055】また、上記の例では、シャンプーとともにトリートメントを推奨するようにしているが、上記トリートメントには、「リンス剤」や「ヘアパック」等、従来からシャンプー後に仕上げ剤として用いられる各種の仕上げ剤が含まれる。また、リンスやトリートメントの仕上げ機能を兼ね備えたシャンプーを推奨する場合は、トリートメントの推奨は、特に必要ない。

【0056】そして、ヘアケア商品の推奨を行う場合に、第1の推奨ツール1および第2の推奨ツール3によらず、顧客とのやりとりのなかで、顧客の髪や頭皮の状態を把握し、その顧客に適したヘアケア商品とヘアケア施術方法を提案し推奨するようにしてもらつても差し支えない。

【0057】

【発明の効果】以上のように、本発明のヘアケア商品推奨方法によれば、日々のヘアケアと、周期的に行う集中ケアによるヘアケアとを、顧客に明確に意識させることができ、顧客に適したヘアケア商品を、顧客に適したヘアケア施術方法を提案しながら推奨することができる。したがって、顧客一人一人に適した適正なヘアケア商品とヘアケア施術を、短時間で効果的に推奨することができ、顧客も納得してその商品を購入し、ヘアケア施術を自ら実行することができるという利点を有する。また、ヘアケア商品を取り扱う化粧品販売員等が、ヘアケア商品の販売、推奨の熟練者である必要がなく、だれもが、一定水準以上のヘアケア商品推奨を的確に行うことができるという利点を有する。したがって、化粧品販売員等への教育の負担が軽減されるという利点を有する。

【0058】そして、本発明のヘアケア商品推奨ツールによれば、上記ヘアケア商品推奨方法を、適切に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に用いる推奨ツールの一実施例の構成を示す説明図である。

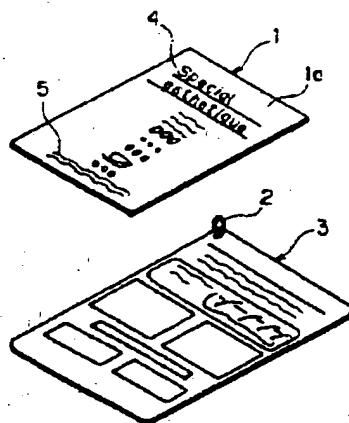
【図2】上記実施例における第1の推奨ツールの説明図である。

【図3】上記第1の推奨ツールの説明図である。

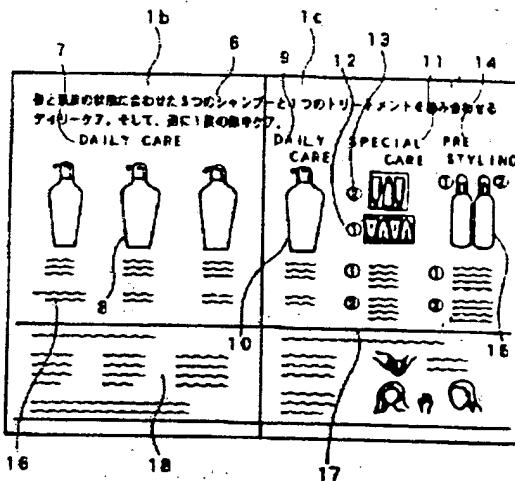
【図4】上記第1の推薦ツールの説明図である。

【図5】上記第1の推奨ツールの説明図である。

[四]

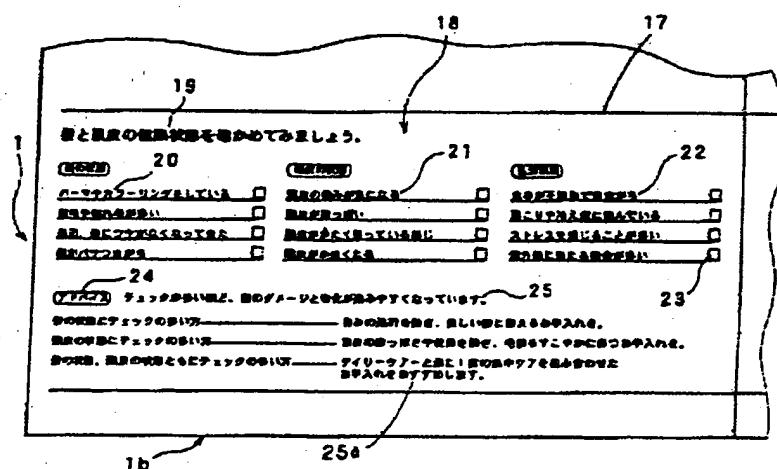


[图2]

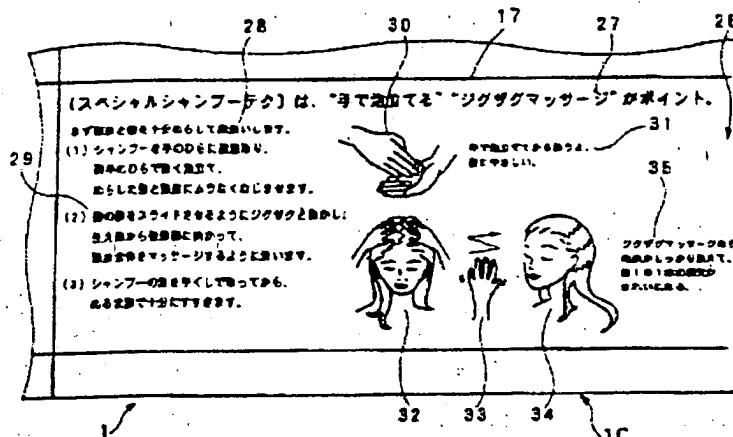


1:第1の推薦ツール
3:第2の推薦ツール

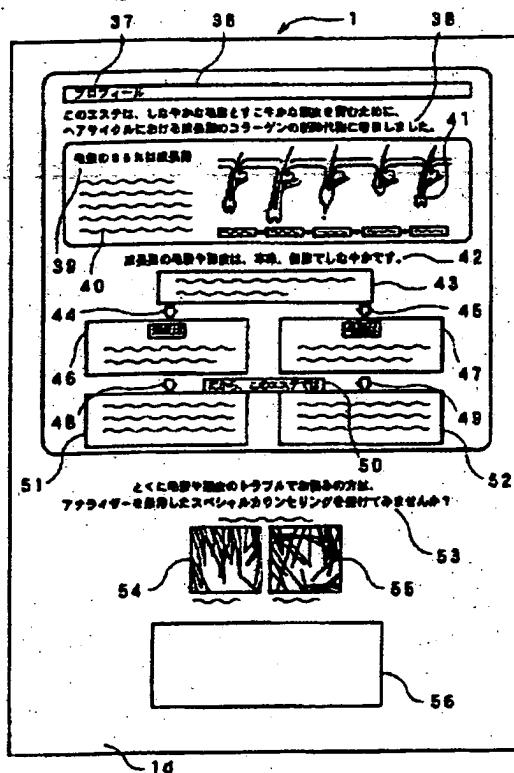
（圖3）



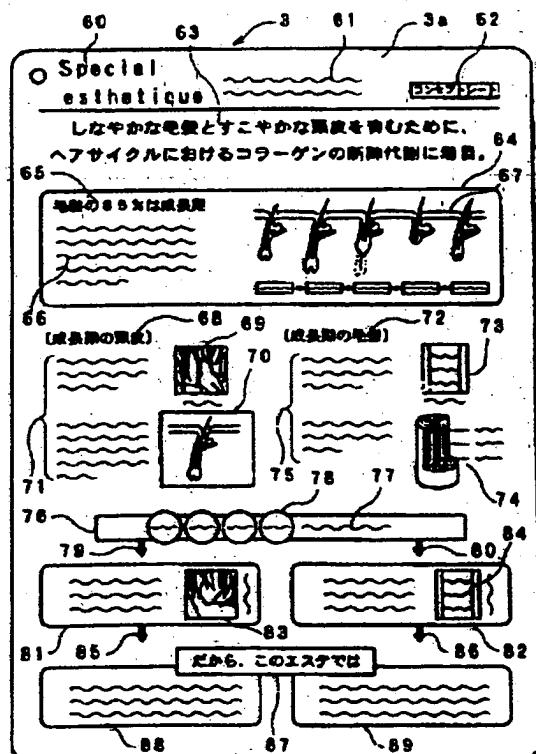
[4]



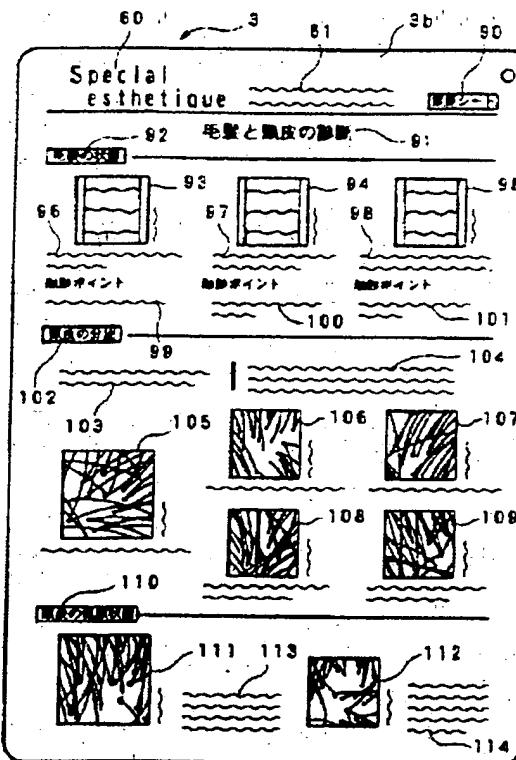
〔图5〕



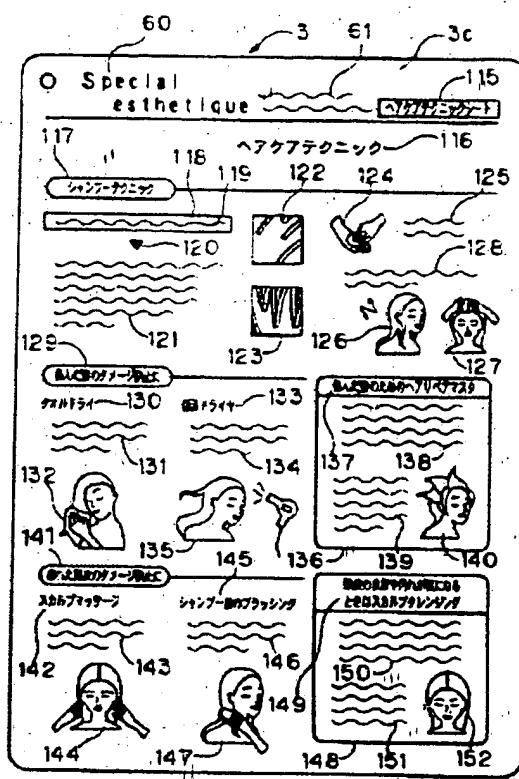
[図6]



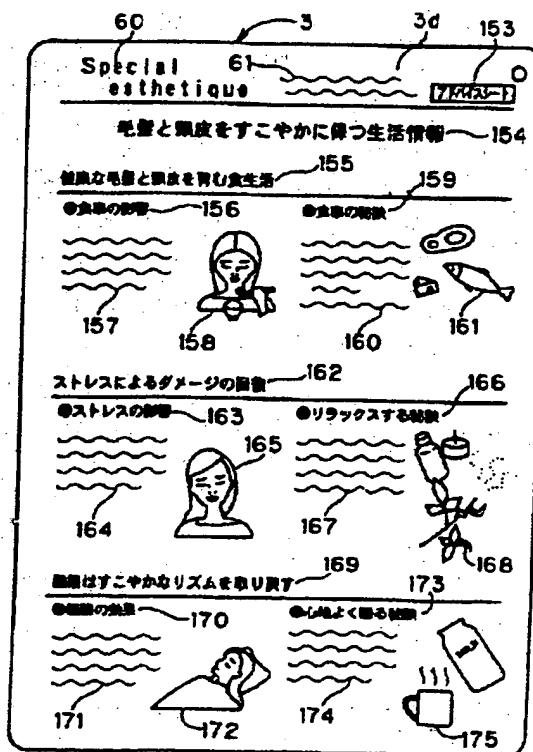
【図7】



【図8】



【図9】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)